

2025年度附属図書館事業報告

2026年3月

目次

1. 2025年度の附属図書館重点施策	p.3
2. Vision1 教育	
(1) 閉館時利用の拡大及び開館時間の延長（試行）について	p.4
(2) ILL費用全額支援開始	p.5
(3) 洋書電子ブック整備	p.6
(4) 【本館】学生用発話ブース整備	p.7
3. Vision2 研究	
(1) オープンアクセス推進のためのAPC支援事業	p.8
(2) 学術出版社との交渉への貢献	p.9
(3) 学術情報流通に関する連続セミナーの実施	p.10
(4) 電子ブックのオープンアクセス出版支援	p.11
(5) 東北大学総合知デジタルアーカイブ:ToUDA	p.12
4. Vision 3 社会共創	
(1) 令和7年度企画展「わたしたち、ここにいました ～川内キャンパスの足元に眠る遺跡を辿って～」	p.13
(2) 総合知デジタルアーカイブ特別展「災害を伝える」	p.14
(3) 分館企画展示	p.15
5. Vision 4 経営革新	
(1) 環太平洋研究図書館連合（PRRLA）総会開催	p.16
(2) Library Labの設置	p.17
(3) 海外調査等	p.18
(4) 東北大アプリ対応	p.19
(5) ネーミングライツ事業	p.20

1-1. 学習に必要なサービスの提供

- ・本学の学習支援に必要なサービス及び環境整備について検討し、充実に努める。

1-2. 学習・研究に必要な資料の充実

- ・本学の学習・研究支援に必要な資料（図書・雑誌・電子ブック・電子ジャーナル・データベース等）の充実に努める。

Vision 1
教育

2-1 オープンサイエンス・オープンアクセスの推進

- ・本学の研究力強化に資するために、「オープンアクセス推進のための APC 支援事業」による、電子ジャーナル転換契約による支援とハイインパクトジャーナル投稿への支援を円滑に行い、その効果の検証を行う。
- ・他大学・関連組織との連携を強化し、電子資料整備の最適化、オープンサイエンスの推進のための研究成果発信のいっそうの展開を図る。
- ・研究成果の即時 OA 義務化を見据え、機関リポジトリの機能強化を図る。

Vision 2
研究

2-2 「東北大学総合知デジタルアーカイブ」の機能強化

- ・デジタルアーカイブの活用に資する企画を検討し実施する。
- ・国文学研究資料館のプロジェクトや当館の計画に基づき、古典資料のデジタル化を引き続き進めるとともに、学内の学術資源のデジタル化も推進する。
- ・学内の関連組織との連携により、学内全体のデジタルアーカイブシステムを運用し機能強化を行う。

Vision 4
経営
革新

4-1 附属図書館将来構想の検討

- ・「附属図書館の組織合理化と機能高度化のための計画（令和6年3月28日改定）」に基づき、図書館機能・職員の高度化・国際化に取り組む。
- ・2号館の改修案を検討し、施設部との意見交換を行う。

4-2 業務改善及び職員の高度化・国際化

- ・令和5年度までに実施した自己点検評価及び外部評価の結果を参考に、業務の改善を図る。
- ・「Tohoku University Library Lab」を設置し、職員の高度化に取り組む。
- ・PRRLA（環太平洋研究図書館連合）の総会開催を核に国際連携に取り組む。

4-3 業務DX化の推進

- ・東北大アプリや各種ツールの活用等により、業務の簡素化・効率化、利用者の利便性向上を図る。

4-4 東北大学特定基金「図書館のみらい基金」の有効活用

- ・基金の拡充に関する検討を行う。
- ・基金への積極的な寄附の呼びかけを行うとともに、教育・研究支援、社会貢献を踏まえた用途を検討し、有効に活用する。

Vision 3
社会
共創

3-1 資料展示企画等の実施による社会への還元

- ・本学の所蔵資料をアピールできるような企画展示、イベント等を実施する。
- ・大学が関係する諸事業に協力する。

3-2 オンラインの訴求力・波及力による広報展開

- ・SNS の活用により、利用者へのタイムリーな広報や、学内外へ附属図書館の諸活動の積極的な発信を行う。

閉館時利用の拡大及び開館時間の延長（試行）について

- 【分館】 2024年度から試行している、閉館時間帯（夜間・早朝・土日休日）における利用対象者の範囲拡大を継続実施しました。
※所属するキャンパス以外の分館も閉館時間帯に利用できるようにするものです。
実施期間・時間帯等は各分館で異なります。
2025年度は手続きの簡素化を図るなどしています。
- 【本館】 2号館の製本雑誌等の利便性向上のため、授業期の1～3階の利用時間を以下のように2024年に拡大、以後継続中です。

- ・ 期間（試行） : 2024年11月16日（土）より
- ・ 平日 : 8:00～20:00（以前は8:45～17:00）
- ・ 土日祝日（通常期） : 10:00～20:00（以前は休館）
- ・ 土日祝日（試験期） : 8:00～20:00（以前は休館）

また、近年の気温上昇を勘案し、
空調稼働期間を拡大しました。



ILL費用全額支援開始

● ILL（図書館間相互利用）による、図書および文献複写物の取寄せ費用全額を2025年4月から支援しています。

● 人社系学部・部局の利用件数が全体の73%を占めました。特に大学院生の申し込みが多く、研究費を持たない学生への支援にもつながっています（本館では件数倍増（2.5倍））。

● 背景：研究支援をAPC支援事業等により行ってきましたが、人社系分野への支援強化のために全学的基盤経費の配分を受けて実施しているものです。

ILL費用支援件数 ※4-11月分 ()は2024年度

部局名	大学院生		それ以外	
文	2,966	(984)	1,700	(918)
教	540	(358)	210	(120)
法	280	(74)	310	(150)
経	422	(4)	170	(110)
国際文化	660	(260)	324	(218)
東北ア	0	0	934	(300)
その他	0	0	224	(182)
(文系計)	4,868	(1,680)	3,872	(1,998)
上記以外	960	(398)	2,234	(1,634)
総合計	5,828	(2,078)	6,106	(3,632)

*キャンセル、未完了案件含む

洋書電子ブック整備

● 2025年10月から、法人戦略予算の配分を受けて、以下の電子ブックのサブスクリプションが、同時アクセス無制限で利用可能になりました。

・ ProQuest Ebooks
4,000以上の優良出版社と提携し、幅広い分野の学術洋書75万冊以上

・ O'Reilly for Higher Education
書籍57,000点以上、動画30,000時間以上、オーディオブック3,500点以上

・ JoVE Education
医学、化学、工学などの研究の鍵となる概念や実験の基礎的なテクニックを収録したビデオ教材

2025年10月から /

電子ブック続々登場

ProQuest Ebooks

世界最大級！ 4,000以上の優良出版社と提携！
幅広い分野の学術洋書75万冊以上が
同時アクセス無制限で利用可能！

O'Reilly for Higher Education

プログラミング、ITネットワークからプロジェクトマネジメント、グラフィックデザイン、ビジネス戦略まで、多彩なトピックをカバー！
書籍57,000点以上、動画30,000時間以上、オーディオブック3,500点以上！

JoVE Education

医学、化学、工学などの研究の鍵となる概念や実験の基礎的なテクニックを収録したビデオ教材！
動画に沿ったテキストがあり、
大部分のコンテンツは日本語字幕・テキスト付！

and more...

Contact : acq-cat@grp.tohoku.ac.jp
東北大学附属図書館情報管理課図書情報係

電子ブック
一覧はこちら



【本館】 学生用発話ブース整備

● 2025年10月から、法人戦略予算の配分を受けて、川内本館に学生用発話ブース（個室ブース）を設置、提供を開始しました（2台）。

● 背景：コロナ禍を経て、オンラインでの発話環境の需要が高まったことに伴い、整備したものです。

オンラインでの打ち合わせ、
面接にも使える！

音漏れしないし、
エアコン付きで快適！！



【予約はMyLibraryから可能】

■ は予約済の時間帯であることを示す

		07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
ブース1	1~1						12:00~12:09	13:00~14:30			16:00~17:30		18:45~19:30		20:00~21:30		
ブース2	1~1				10:15~12:15			13:30~13:45	13:45~14:30		16:00~18:15		18:30~21:30				

オープンアクセス推進のためのAPC支援事業

OPEN ACCESS 2025年度 東北大学

オープンアクセス推進のためのAPC支援事業

Tohoku University FY2025 Open Access Article Processing Charge (APC) Support Program

若手研究者に100%のAPC支援を実施!
100% APC subsidy for early-career researchers!

若手以外の研究者も条件により最大100%のAPC支援を実施!
Up to 100% APC subsidy for mid and late-career researchers!

2025年よりACSの100%支援対象が拡充!
American Chemical Society expands the scope of its 100% subsidy from 2025!

学内限定

QRコード

東北大学メールアカウントでログインしてください
Log in with your TU email account.

本学の研究成果発信力強化及び若手研究者支援のため、国際的な学術ジャーナルに投稿される論文のオープンアクセス化にかかる経費の支援を実施します。支援プログラムは下記の2種類です。いずれかに該当する場合には、投稿論文をオープンアクセスで出版するためのAPC(Article Processing Charge)費用を支援します。

1. Elsevier / Springer / Wiley / ACS支援プログラム
 2. ハイインパクトジャーナル投稿支援プログラム
- 対象誌リストなど、詳しくは特設ウェブサイトをご参照ください。

We provide financial support for Open Access publishing fees for international journals to enhance Tohoku University's capacity to disseminate research findings and support early-career researchers. There are two types of support programs available. If any of the above conditions are met, Tohoku University will cover the Article Processing Charge (APC) for publishing submitted papers in Open Access format.

1. Elsevier/Springer/Wiley/ACS Support Program
2. High Impact Journal Submission Support Program

Please refer to the designated website for details, including the list of applicable journals.

※若手研究者支援対象としている分野(分野)限定の論文投稿も継続します。
* We will continue to expand support for non-early-career researchers (primarily limited to the latter half of last fiscal year).

<https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/apc-kakudai>

● 2025年度APC支援事業

研究成果の発信力強化及び若手研究者支援のため、国際的学術ジャーナルに投稿する論文のオープンアクセス化にかかる経費 (= APC) の支援を実施しています。

2025年は「**800名以上**の方に」
「**約1,500件**」の支援を実施しました。

詳細は→

令和6年度
オープンアクセス推進のための
APC支援事業
Call for FY2024 Support Program
for the Article Processing Charge (APC)

<https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/apc-kakudai>

(学内限定)

学術出版社との交渉への貢献

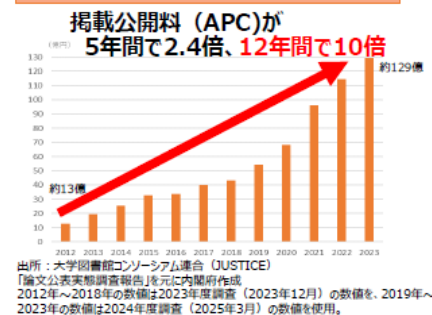
● 2024年2月に政府からの支援を受け、「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」の実現を目標に、海外学術出版社との交渉を行うOASE（Open Access for Scholarly Empowerment）が発足しました。大隅典子前附属図書館長が設置当初の代表を務め（現在は交代）、東北大学附属図書館は現在まで継続して交渉事務局を担当しています。

● 2024年にWiley、2025年にSpringer Nature, Taylor & Francis等と転換契約に合意。180を超える大学等がこの条件で契約を行いました。2026年はACS, Elsevier等と交渉中。主たる目標は経済的負担の軽減、オープンアクセス出版枠の拡大等となっています。

購読料の高騰



掲載公開料等の高騰



出典（上下の図ともに）：2026年1月15日開催「CSTI有識者議員懇談会」資料より抜粋

方針

- 公的資金による学術論文等の即時オープンアクセスの実施 *学術論文を主たる成果とする競争的研究費制度を対象
2025年度から新たに公募を行う文部科学省所管の競争的研究費に係る学術論文及び根拠データの学術雑誌への掲載後、即時に機関リポジトリ*等への掲載を義務づける。 *機関リポジトリ：大学等が生産された論文等の研究成果を電子化して保存し、インターネット上で公開するシステム
- グローバルな学術出版社との交渉
海外大手学術出版社に対する大学を主体とした集団交渉の体制構築を支援し、大学等の経済的負担の適正化を図る。
- 研究成果発信のための研究データ基盤システムの整備・充実
研究成果を誰もが自由に利活用するための発信手段として、研究データを管理・公開・検索する基盤システムの整備・充実の支援を行う。等

この施策に
貢献

● 2026年1月15日には、CSTI有識者議員懇談会にて、大隅代表（当時）からOASEの交渉成果を報告しました。

学術情報流通に関する連続セミナー 第11回 (2025年9月26日)

更新日：2025年10月09日更新

「研究情報のオープン化がもたらすもの：OpenAlexを用いたオープンアクセス分析」の開催について (ご案内)

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

RUC (研究大学コンソーシアム)「学術情報流通の在り方に関する連絡会」では、学術情報流通を巡る諸問題についての連続セミナーを開催しています。このほど第11回「研究情報のオープン化がもたらすもの：OpenAlexを用いたオープンアクセス分析」を下記のとおり実施いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

これまで、論文の書誌データ、著者・所属機関情報、研究資金情報など、多くの研究情報は有償で提供され、アクセスが制限されてきました。しかし、透明性や公平性の観点から、研究情報のオープン化が求められています。今回のセミナーでは、京都大学附属図書館研究開発室の沼尻保奈美助教から、研究情報のオープン化を目指して策定された「パルセロナ宣言」について解説いただきます。さらに、その理念を体現する、オープンな研究情報データベース「OpenAlex」を用いた学術論文のオープンアクセス分析結果についても伺います。

1. セミナー演題：
「研究情報のオープン化」
2. 開催日時：2025年9月



● RUC (研究大学コンソーシアム) に設置された「学術情報流通の在り方に関する連絡会」の取りまとめを他大学と協力しながら東北大学附属図書館が担当しています。

● 東北大学・東京大学・東京科学大学が企画担当となり、2023年度から連続セミナーを開催しています。

● 過去のセミナーの資料及び動画はウェブサイトから公開しています (これまでに11回開催)。

https://www.ruconsortium.jp/tf/cat2/cat/gakujuutsu_seminar_11.html

電子ブックのオープンアクセス出版支援

●国際的に定評のある出版社による、単著および章単位の著作のオープンアクセス化費用の全額の支援を2025年4月から開始しています。

2025年11月末現在で支払予定分を含め、単著4件、章単位7件、金額としては概算で14,645千円を支援しました。

人社系分野への支援が全体の8割超です。

OPEN ACCESS 2025年度 東北大学

電子ブックのオープンアクセス出版支援事業

Internationality: FY2025 Support Program for the E-Book Open Access Publishing

人文社会科学系分野を中心とした支援!

Support mainly in the humanities and social sciences fields!

国際的に定評のある出版社での圖書のオープンアクセス出版!

Open access publishing of your book with internationally acclaimed publishers!

本学の研究業績が世界的にも、この度の国際的な電子ブックのオープンアクセス出版に付く本館蔵書の
 読者増進に寄与することになりました。
 当該制度となる出版社から発行する電子ブック(全書または章単位)について、単著者の執筆費をオープン
 アクセス出版に換金費用が免除されます。
 図書館ウェブサイト上で詳しくは特設ウェブページをご参照ください。
 To consider the University's efforts to disseminate research results, and we have now decided to introduce a new support
 program for the cases of open access publishing of international access.
 We will support the fee that original author payment of an equivalent access journal is charged payment by an open
 publisher. Please refer to the designated website for details including the list of publisher eligible for support.

<https://libra.gyoji.tohoku.ac.jp/oa/oa/oa/>

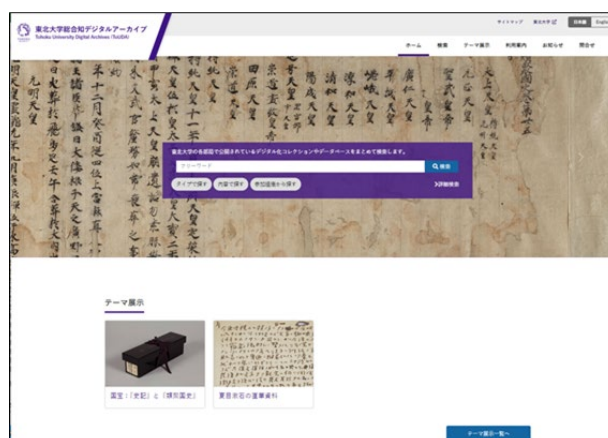
東北大学図書館 情報管理課 オープンアクセス推進部
 Open Access Publishing Center, Information Management Center, Tohoku University, Japan
 lib_aoa@lib.tohoku.ac.jp

東北大学総合知デジタルアーカイブ : ToUDA

- 2024年4月4日に公開した「東北大学総合知デジタルアーカイブ : ToUDA」は、総合知の創出に寄与する知的基盤として、学内で保有するデジタル化した文化・学術資源（古典籍・大学史料・博物資料等）を文系・理系を問わず収録し、統合的に公開するプラットフォームです。
- 現在の登録数は以下で、順調に増加しています。

2026年1月末現在

所蔵部局	画像有メタデータ件数	画像コマ数
図書館本館	57,197	3,674,717
史料館	14,904	46,310
医学分館	120	14,878
埋蔵文化財調査室	181	349
工学分館	1	305



<https://touda.tohoku.ac.jp/portal/>

令和7年度企画展「わたしたち、ここにいました～川内キャンパスの足元に眠る遺跡を辿って～」

●東北大学埋蔵文化財調査室と共催し、川内キャンパスの出土品による展示会を開催。これに併せて講演会やギャラリートークを実施しました。

<開催概要>

会期：2024年10月18日(土)～12月21日(日)

場所：東北大学附属図書館本館1階
エントランスホール 展示コーナー

監修：埋蔵文化財調査室

<講演会>

日時：10月18日(土) 13:00～15:30
会場：東北大学附属図書館 本館1階 多目的室
演題：

- 1) 「足元の世界から —川内キャンパスの遺跡—」
東北大学埋蔵文化財調査室 特任准教授 菅野智則 氏
- 2) 「3Dデータ×考古学 ～どうやって作るか? なぜ作るか?～」
東北大学埋蔵文化財調査室 特任助教 館内魁生 氏
- 3) 実際の出土遺物に触れる体験企画

<ギャラリートーク>

日時：

- ① 10月20日(月) 12:10～12:50
- ② " 13:10～13:50
- ③ 11月1日(土) 11:20～12:00
- ④ " 13:30～14:10

会場：東北大学附属図書館 本館1階 エントランスホール 展示コーナー
講師：東北大学埋蔵文化財調査室 専門職員 柴田恵子 氏

2025年度東北大学附属図書館企画展

2025
10.18 SAT
-12.21 SUN

東北大学埋蔵文化財調査室監修

わたしたち、ここにいました

川内キャンパスの足元に眠る遺跡を辿って

東北大学附属図書館 本館
エントランスホール 展示コーナー
開館時間内観覧可

観覧無料

講演会

I 菅野智則 東北大学埋蔵文化財調査室特任准教授 足元の世界から—川内キャンパスの遺跡—	日時 2025.10.18 SAT 13:00-15:30 (12:30開場)
II 館内魁生 東北大学埋蔵文化財調査室特任助教 3Dデータ×考古学—どうやって作るか?なぜ作るか?—	定員 60名 事前申込制・先着順
III 体験企画 出土品に触れる	申込締切 10/16 17:00
	申込方法 右の二次元バーコード 又はURLから

ギャラリートーク

柴田恵子 東北大学埋蔵文化財調査室専門職員 専門の研究者による展示解説	
日時 2025.10.20 MON 12:10-12:50 / 13:10-13:50 2025.11.1 SAT 11:20-12:00 / 13:30-14:10	申込締切 10/20の回は10/16 11/1の回は10/30
定員 各回10名 事前申込制・先着順	申込方法 右の二次元バーコード 又はURLから

主催 東北大学附属図書館 協賛 埋蔵文化財調査室 共催 埋蔵文化財調査室 一軒車場はありませんので公共交通機関をご利用ください

<https://www.glib.nippon.ac.jp/exhibitions/>

● 「災害を伝える」をテーマに、本学で所蔵する地学資料、文献資料、絵葉書などの様々な資料を展示、併せて講演会も開催しました。

<開催概要>

1. 展示

- ・会期：2025年11月17日（月）～12月14日（日）
- ・場所：附属図書館本館1F多目的室
- ・開室時間：10:00～16:00

2. 講演会

- ・月日 2025年12月6日（土）
- ・時間 13:30～15:30
- ・場所 文科系総合講義棟2F 204講義室
- ・講師 災害科学国際研究所
蝦名裕一准教授「史料から読み解く災害」
菅原大助准教授「大地から読み解く災害」

主催：総合知デジタルアーカイブ運営委員会・学術資源研究公開センター・附属図書館

共催：災害科学国際研究所、文学研究科、統合日本学センター

2025年度東北大学総合知デジタルアーカイブ特別展

2025
MON SUN
11.17-12.14

東北大学附属図書館1F
多目的室 10:00-16:00
入場無料

噴火

地震・津波

記録する。
読む。
見る。

雷

大雨・洪水

講演会 参加無料
東北大学災害科学国際研究所
蝦名裕一 准教授「史料から読み解く災害」
菅原大助 准教授「大地から読み解く災害」
日時 2025.12.6 SAT 13:30-15:30
場所 東北大学文科系総合講義棟204講義室
・事前申込制・先着順 定員100名
・右のQRコードから申込 2025/12/3締切

問合せ：library.exhibition@grp.tohoku.ac.jp 東北大学附属図書館
駐車場はありません。公共交通機関でお越しください

主催 東北大学 総合知デジタルアーカイブ運営委員会/学術資源研究公開センター/附属図書館
共催 東北大学 災害科学国際研究所/文学研究科/統合日本学センター

【医学分館】

「読書でスタート!」、「医療者としてのものの見方・考え方」、「漢方を知る」、「小さな世界の住人たち」、「心の健康、気にかけてますか?」、「日本の医学者・研究者に学ぶ」、「論文執筆を応援します!」、「食べて幸せ!」、「くわしく知りたい!アレルギー」、「Medical Library Reading Week」、「100年前の医学書」、「「もしものとき」を考える」

【北青葉山分館】

図書館ウェルカムウィーク展示、「Share your best pick!」、「読書の秋/ノーベル賞」、「学問とつながる英語の力」、「卒論・修論 ラストスパート」、「年の瀬に読む本」、「ストーリーで読む科学の世界」、「数学ガール」、「AA 選書 (ポップ付き)」

【工学分館】

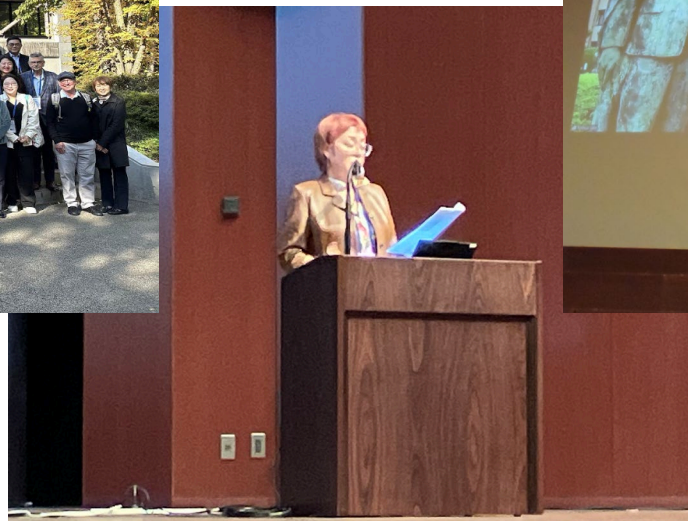
新入生向け「春のおすすめ図書展示」、「SDGs展示」、「心に効く本」、「石好きに捧げる図書展示」、「読む前に好きになる本」、「女性科学者・技術者」、「宇宙と機械」、「どうしてこんなに暑いのか」、「Book Selection for International Students」、「音と劇場」、「ヒトとロボット」、「気軽に読める本」、宇田文庫設置記念展示「宇田新太郎－研究者として、一人の人間として－」、「体の健康 心の健康」、「冬のあれこれ」、「Ne ビジューいいじゃん」、「誰にも借りられたことのない本」、「冬休みお薦めBook」、「ケンチュクと〇〇」、「工学分館おびくじ」、ネーミングライツ事業実施記念展示「本多光太郎入門」、有志建築学生3名による「修士設計/卒業設計」展示

【農学分館】

「Let's Get Started! 〇〇を始めよう!!」、ウェルカムウィーク、「World Tuna Day : 世界マグロデー」、「ヨーグルトの魅力」、「日本のコメ を考える」、「災害に備える」、「Let's Enjoy autumn!!」、「先輩たちも使った論文・プレゼン対策本」、「YEAR OF THE HORSE」、「みんなが選んだ本 (和書編)」、「湿地に思いを馳せる」

環太平洋研究図書館連合（PRRLA）総会開催

- 環太平洋研究図書館連合（PRRLA: Pacific Rim Research Libraries Alliance）はAPRUの連携組織であり、カリフォルニア大学、北京大学、シドニー大学等の約40機関の図書館が参加しています。
- 東北大学は2016年から本連合に加入しています。2025年の年次総会（10月29～31日開催）については、東北大学附属図書館がホストし、デジタルアーカイブ（ToUDA）に関する報告も行いました。



Library Labの設置

●国際卓越研究大学の知の基盤として世界と伍するため、図書館の研究支援力を強化することを企図して、Library Labを設置し、2025年度から活動を開始しています。

※設置及び趣旨については2025年3月24日開催の附属図書館商議会にて報告済

2025年度の取組テーマ一覧

情報リテラシー教育活動の総合的な観点での検討

AI等活用による新たな図書館サービス

将来的な図書館フロアのデザイン

小規模図書館（室）の今後の在り方について

デジタルアーカイブにおける動画・音声コンテンツの動向

●すでに試作段階に入った成果については、2026年1月30日開催の、国立大学図書館協会人材委員会主催のシンポジウム「大学図書館における人材確保・人材育成最前線」にて事例報告を行いました。

写真：上記シンポジウムにて「AI等活用による新たな図書館サービス」について発表する当館職員



●オープンサイエンス等の調査など、様々な目的で国内外で調査・発表を行いました。主なものは以下の通りです。

日程	訪問先	訪問者	備考
2025/5/12-5/14	COAR2025 国際的なオープンアクセス・リポジトリの団体であるConfederation of Open Access Repositories (COAR) の年次大会が東京で開催され、参加。	永澤恵美(オープンアクセス推進係長) 武田小百合(オープンアクセス推進係主任) 泊川晃(学術情報基盤係)	オープンアクセス、オープンサイエンス、リポジトリに関する国際的動向等について学んできました。
2025/5/19-5/24	International Staff Week2025 (フランス レンヌ大学) EDUC (European Digital UniverCity)に加盟する各大学が、定期的開催。	堀野陽子(工学分館整理運用係長)	フランスのオープンサイエンス戦略やレンヌ大学での実践について研修を受けました。
2025/10/20-10/24	eResearch Australasia 2025 Conference オセアニア地域で毎年開催される研究データ管理関係の国際的なイベントに参加。	中島大(雑誌情報係主任) 泊川晃(学術情報基盤係)	研究データ管理やリポジトリ、PIDなどの国際的な動向やオセアニア地域の実践について学んできました。
2025/11/4-11/6	The 6th Open Access Specialist Workshop of China 中国で毎年開催されているオープンアクセス関係の研修会に招待講演。	山形知実(情報管理課専門職員)	講演では、日本のOAに関わる3つ(機関リポジトリ、大学図書館コンソーシアム連合、OASE)の取組を紹介しました。
2026/3/10-3/15	東アジア図書館協議会年次会議 北米日本研究資料調整協議会 北米で毎年開催されている図書館関係の国際的なイベントに参加。発表も行う。	山形知実(情報管理課専門職員) 菅原真紀(オープンアクセス推進係主任)	---

- 東北大アプリが持つ機能の一つであるデジタル身分証（学生証、職員証）を使って、2025年10月から順次、本館・分館において、入館、資料の貸出が可能になりました。



入館ゲート



QRコード読み取り装置



自動貸出機

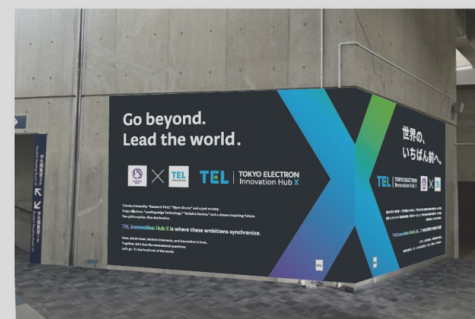
- 工学分館と本館において、各々ネーミングライツ契約を締結しました。

工学分館は、大陽日酸株式会社※とのネーミングライツ契約に基づき、施設の愛称を「NIPPON SANSO LIBRARY 工学分館」に決定し、2月12日に命名記念式典を開催しました（4年契約）。

※2026年4月から社名を「日本酸素株式会社」へ変更



本館は、東京エレクトロン宮城とのネーミングライツ契約に基づき、メインフロア及びラウンジの愛称を「TEL Innovation X」に決定し、3月13日に命名記念式典を開催しました（3年契約）。



(設置イメージ)